

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かな子どもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第38号 R3. 1. 15

「保幼小中一貫教育に向けて PTA として知りたいこと」

豊能町 PTA 連絡協議会講演会 -その2-

前号に引き続き、12月に開催した豊能町 PTA 連絡協議会講演会についてご紹介します。大阪モデルがレッドステージに移行したことを受け、Web のみでの開催としたため、質疑応答の場を設けることが難しく、参加者の皆様には質問のある場合、アンケートにご記入いただきました。

アンケートの中に記載されていた質問事項につきまして、講師の義務教育学校姫路市立白鷺小中学校の山口偉一校長先生にお願いし、ご回答いただきました。



■質問と講師の山口校長先生からのご回答をいくつか紹介します。

Q： 義務教育学校における小学校6年の3月の卒業式の有無とその理由について教えてください。

A： 小学部の卒業式は「前期課程修了式」として行っています。ただし、従来の卒業式と異なりプログラムは精選しています。修了証書授与、校長式辞が主なものとなっています。他の義務教育学校においては、式そのものを行わない学校もあると聞いています。本校においては、義務教育の「小学校教育課程」を修了する「節目」を大切にしたいこと、中学部進級に際して約2割の児童が私学に進学すること等を考慮しています。

Q： 卒業まで9年間同じメンバーで過ごすことによる問題と、それについて工夫されていることがありましたら教えてください。

A： 確かに、中学校に進学することで、他の学校文化を身に付けた生徒との交わりによる教育効果や新たな交友関係が生まれるということは、貴重な経験だと思います。一方で、9年間育んできた仲間との強い絆による連帯感等もかけがえのないものになります。どちらが優れているかというよりも、どのような集団を形成していくか、その中でどのような心情を育成できるか、育成しようとするのかという実践的な考え方を大切にしたいと思っています。

Q： 山口校長先生は「一貫校に変わって地に足が着くまで3年」とおっしゃっていましたが、変わることで子ども、保護者、先生方も不安になり、いつも以上に学校や先生方への不満も出てくると思います。保護者として、どのように構えていたらよいでしょうか。

A： 3点。一つ目は、「学校と保護者は児童・生徒を育てていくパートナーである」という意識を基盤に据えること。二つ目は、「制度」の問題にしないこと。三つ目は、普段から顔を見ながら会話する機会を増やすこと。これらは、義務教育学校であろうとなかろうと同じだと思います。PTAから、このような基本的なことを発信していただければ、学校としてもやりやすいのではないかと思います。

たくさんの方からアンケートをご提出いただきました。ご協力、ありがとうございました。参加者の皆様それぞれが、「保幼小中一貫教育」について考えることのできた実りのある研修会になりました。

本町のために、ご講演だけでなく、質問事項にも丁寧にご回答くださいました講師の山口校長先生に深く感謝申し上げます。

キャリア教育の取組み ～異校種間交流～

豊能町の各学校園所では、校種や学年を越えた交流が進められています。異年齢の関わりを通して、年上の子は年下の子をいたわり、守り、年下の子は年上の子に感謝し、憧れるということを体験します。そして、異年齢集団での交流を体験することで、子どもたちは自己有用感や規範意識などを育んでいきます。

【吉川保育所 ドレミコンサート】

3年前から、吉川保育所で吉川中学校吹奏楽部のみなさんによる「ドレミコンサート」がスタートしました。毎年冬休みを利用して、吹奏楽部の生徒が保育所を訪れ、演奏会を開催しています。

今年度は、コロナ禍で例年通りの開催は難しい状況でした。しかし、生徒たちはこのような困難な状況でもあきらめることなく、どのようにすれば保育所のみんなに喜んでもらえるかを考え、今年は、コンサート動画を作成し、保育所に届けるという形で開催することができました。

コンサート当日、スクリーンに映る吹奏楽部の生徒の演奏に合わせて、保育所の子どもたちは、一緒に歌ったり踊ったり、クイズに答えたりと、まるで目の前に中学生がいるかのような盛り上がりで大喜びでした。保育所の子どもたちは「うわあー。カッコイイ。」「大きくなったらやってみたい。」と中学生の姿に憧れを抱いたようです。



社会が激しく変化する中、子どもたちは、自分の将来を考えるモデルを見つけにくく、夢を描くことが難しくなっています。

本町では、保幼小中一貫教育を推進し、キャリア教育の視点から子どもたちが成長する見通しを持った働きかけを行う多様な異校種間交流・異年齢交流を積極的に取り入れ、子どもたちの成長につなげていきます。